

「光」の贈りもの

献眼で、あなたにもできます

2025 December

由美かおる

由美かおる

あなたの善意を
待っている人がいます

献眼者ご芳名

令和6年4月から令和7年3月までにご献眼された方々です。
謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

献眼年月	献眼者ご芳名	地区
令和6年5月	中田 勝 様	富山市
7月	林 幸子 様	高岡市
8月	伊藤 京子 様	朝日町
9月	野澤 喜一 様	入善町
10月	小原 要 様	高岡市
11月	古川 秋光 様	富山市
11月	匿名希望	上市町
12月	大坪 久子 様	砺波市
12月	上田のぶ子 様	入善町
12月	谷口 正明 様	魚津市
令和7年1月	匿名希望	富山市
1月	匿名希望	富山市
1月	匿名希望	高岡市
1月	篠崎 宣行 様	富山市
2月	南 恭子 様	射水市
3月	匿名希望	射水市
3月	渡邊 礼都 様	黒部市
3月	田中 節子 様	高岡市
3月	匿名希望	富山市

なお、厚生労働大臣感謝状授与式につきましては、令和7年10月27日に執り行いました。
ここに改めまして御礼申し上げます。

ご挨拶



公益財団法人富山県アイバンク
理事長

木村 正明

拝啓 季節の便りに心和むこの頃、皆さまにおかれましてはお健やかにお過ごしのことと存じます。

平素より富山県アイバンクの活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび「富山県アイバンクだより『光』の贈りもの」は、第31号という新たなスタートの節目を迎えることができました。ここまで歩むことができたのは、献眼という崇高なご決断をしてくださった方々と、そのご家族、アイバンクを支援して頂いているライオンズクラブ会員、そして地域の皆さまの温かい思いに支えられてきたからに他なりません。改めて深く感謝申し上げます。

献眼は、自らの光を他者に託す、尊く大きな愛の行為です。そのお陰で、これまで多くの方々が視力を取り戻し、再び社会の中で夢や希望を語れるようになりました。しかしながら、県内には今

もなお20名を超える方々が角膜移植を待ち望んでおられます。暗闇の中で「光」を待ち続ける日々の苦しさを思うと、私たちには一刻の猶予もないという思いを強く致します。

一人でも多くの方に早く光を届けるために、私たちは献眼登録をさらに広げていかなければなりません。皆さまお一人おひとりの決断が、かけがえのない命を支え、未来を照らす希望の光となります。どうかこの「光の贈りもの」の輪を、更に大きく広げて頂けますよう、心からお願い申し上げます。

第31号という節目を新たな出発点とし、私たち役員・職員一同は使命感を胸に、普及啓発と移植医療の推進に全力で取り組んでまいります。今後とも皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

副理事長就任の挨拶



公益財団法人富山県アイバンク
副理事長

松田 憲昌

先般、アイバンクの副理事長就任の打診を受け、先輩ライオンの教え「どんなお役もハイカイエスで受けるんだよ」…が脳裏をかすめ、深く考える間もなく快くお引き受けした次第です。

私の両親はすでに数年前に他界して、おりませんが、遺影の横に並んで、二人の献眼への感謝状がそれぞれ飾られています。それを見上げるたびにあらためて、人生最後のご奉仕をやった良かったねと、語り掛けてしまうのも、献眼によって光

を得られた方々が、きっと素敵な人生を送っていただけることと想像するからです。思えば献眼は、多くの人がやれるチャンスを持っていると言えるのではないのでしょうか。

アイバンクのメイン事業である「献眼」という崇高な奉仕活動を、より多くの方々に実践してもらえるよう、各ライオンズクラブの皆様のご協力を仰ぎながら、努力させて頂きたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

献眼とiPS細胞

富山大学副学長
富山大学眼科学教授

林 篤志



眼科の分野ではiPS細胞の研究が進展していることは、皆さまご存じのことと思います。今現在、どのようなことがiPS細胞でできているかをお知らせします。

山中教授らが発見したiPS細胞とは、多能性誘導因子を大人の細胞の中に入れることで、様々な組織や臓器に分化できる能力をもつ細胞に変える（若返らせる）ことができ、そのような分化する能力をもつ細胞をiPS細胞と言います。ちょうど受精卵がいくつかの細胞に分かれていき、この分化できる細胞が、その後、様々な臓器に分化して、人間が出来上がるようなものです。今では、血液細胞からiPS細胞を作れば、目の中の各細胞を作り出すことができるようになっていきます。現在、iPS細胞から網膜色素上皮細胞と角膜上皮細胞を作り出し、細胞を移植して治療に使えるように研究が進んでいます。しかし、現在の技術では、角膜組織全体をiPS細胞で作り上げることは、全くできていません。

角膜移植では、角膜組織全体を移植する場合や、内皮細胞を含む角膜の内側の組織を移植する方法がありますが、iPS細胞で移植に使える組織を作り上げることは、まだ全くできないため、今後、20—30年はiPS細胞の研究が進んでも、献眼に代わる方法はないと言えます。それほど人間の組織や臓器は、多くの種類の細胞が精密に、かつ秩序立ってできています。ぜひ、今後とも献眼への皆様のご協力をお願い申し上げます。

献眼者ご遺族の手記

2024年に母が献眼

献眼者の
娘さんから

伊藤 京子

01



▲約13年前 町内のイベントにて

私たち夫婦と両親は、以前より献眼に理解を示し、登録をしております。私は毎月、富山大学附属病院眼科に通院しております。11年前、父親が亡くなった時に献眼を希望し、早朝でしたが連絡をしたところ、とても不快な対応で対象にならないと言われました。4人とも登録をやめようと思っておりましたが、現状を知りたくて、富山大学附属病院眼科の主治医に相談したところアイバンクコーディネーターの方を紹介していただきました。とても詳しく丁寧に説明を受け、納得してこのまま登録をしておくことにしました。

令和6年8月14日午前11時頃、病院から突然、心肺停止の知らせがあり駆け付けたところ、まだ温かい母と対面しました。認知症と脳梗塞で麻痺があり、大変辛かった闘病生活を思うと迷う気持ちもありましたが、母の意志を尊重し献眼の連絡をしました。

程なく、コーディネーターの方が来院され家族3人で説明を聞き納得した上で献眼をお願いし、霊安室で待機しておりました。担当医師が到着され、再度確認の対応がなされ眼球摘出の処置が行われました。再び見た母の顔は義眼を入れてもら

い綺麗に整って、穏やかな仏様の顔でした。

孫やひ孫も駆け付けており、孫は「やっぱり、ばあちゃんは最後までスーパーばあちゃんやったね」、中学2年生のひ孫は「僕は人が亡くなった体験初めてやし、目の玉を人のために役立てるって、おばあちゃんってすごいね」と感心していました。

この体験は家族にとって誇りにしていこうと思っています。

後日、アイバンクから無事、角膜移植がなされたとの報告を兼ねたお便りをいただき、母の眼の光がどこかに届き照らしているのだと思うと喜びの感情すらいなくようです。

私たち夫婦は医療に少し関係のある仕事をしており、角膜や献眼のしくみなどパンフレットを見て、40年前から登録しています。

その時になれば手続きをするように子供たちに伝えてあります。子供たち3人も献眼登録を希望しております。

今後は、機会があれば体験をした話を聞いてもらったり、少しでもアイバンクの活動に協力したりできればと思っています。

献眼者ご遺族の手記

2024年に母が献眼

献眼者の
息子さんから

上田 和男
(富山県入善町)

02

令和6年12月、98歳の母が介護施設にて天寿を全ういたしました。

父は、51歳で病により急逝し母は45歳で未亡人、私が平成3年に我が社に入社するまでの間、経営を支えてくれました。その献身に、心から感謝しています。

その後、入善ライオンズクラブに入会し、ライオンズクラブの主要なアクティビティの一つである献眼運動に関わるようになりました。ある日、母に「献眼登録をしようか。角膜移植は亡くなつてからの奉仕活動だから」と詳しく話すと、「いいよ。死んでからなら角膜でも腎臓でも肝臓でも、

困っている人にあげるよ」と言ってくれました。そして平成17年5月、母が献眼登録を行いました。

母は70歳頃から会社経営から身を引き、元気に畑仕事や庭の清掃、友人との旅行を楽しんでいました。84歳頃には自動車運



▲お天気のよい日にはシニアカーでお出かけ



▲家族に囲まれ記念撮影

転免許を返納し、シニアカーで近くの店や友人宅へ出かけ、会話を楽しむことが日課となっていました。

しかし、足腰が弱り転倒が増え、脊髄の圧迫骨折や膝の人工関節手術を繰り返すようになり、88歳頃から介護施設のデイサービスに通い始めましたが、歩行が困難となり、介護施設へ入所しました。その年から新型コロナウイルス感染予防のため面会ができず、寂しい思いをさせてしまいました。

やがて認知症が始まり、体力も低下。令和6年12月13日午前中に看取り介護（一人部屋への移動）に切り替えましたが、お昼過ぎに静かに息を引き取りました。

その後、葬儀社へ連絡し、自宅への搬送時刻を確認したうえでアイバンク事務局に連絡。富山大学附属病院から眼科の若い医師とアイバンクコーディネーターが自宅に来られ、眼球の摘出処置をしていただきました。1時間ほどで母の意志を叶えることができ、家族として安堵いたしました。

後日、母の角膜が二人の方に移植されたとの連絡をアイバンク事務局よりいただきました。光を取り戻した方々の身体の中で、母は今も生きています。人生の最後に、素晴らしい奉仕活動（献眼）を果たしてくれた母に、感謝の気持ちでいっぱいです。

献眼者ご遺族の手記

2015年に母が献眼
2021年に父が献眼

献眼者の
息子さんから

吉崎 剛

(魚津ライオンズクラブ)

03



私の両親はライオンズクラブ会員並びに家族会員として献眼登録を致しており、自然な容で献眼をしました。母は平成27年12月30日、父は令和3年11月24日に亡くなりました。その時の私の立場は、母の時は父の発議にて献眼する旨の同意者、父の時は逆に他の家族に同意してもらうための発議者でした。幸い反対意見等も特に無く、速やかにアイバンクに連絡を入れ、献眼を実施することが出来ました。母の時は年末ではありましたが、連絡後2時間程でドクターが到着されました。父の時は、ドクター到着まで半日以上の時間を要し

ていたかと記憶しています。休日及び夕方方の連絡という事情もあったのかもしれませんが、是非ともそのあたりを改善していただけたら幸いです。

ライオンズクラブ活動に於いて献眼登録推進は主要なアクティビティです。遺族の同意もさることながら、そもそも故人の遺志を家族が知り得なければ、どれだけ多くの方が献眼登録をされていても、献眼は行われないことでしょう。登録推進と同時に家族の理解を深く得るための、更なる啓発が必要ではないでしょうか。

献眼登録啓蒙活動



富山いきいき
ライオンズクラブ

2025-2026年度
幹事 渡部 大



フューチャーシティ・ファボーレにて

私自身、臓器移植については運転免許証の裏面等で理解はしていたものの、献眼について知ったのはライオンズクラブに入会してからでした。

昨年度、当クラブは結成20周年を迎え、三井前会長の下【結成20周年 新たな気持ちで We Serve】をスローガンに様々なアクティビティー・記念事業を実施してまいりました。

そんな中、アイバンクの木村理事長はじめ燕昇司常務、岡田様に例会をご訪問いただき『ライオンズクラブと富山県アイバンク』と題してアイバンクの歴史、現状や課題を改めて学

ばせていただきました。

ご訪問いただいた後に当クラブでも「愛の光の贈りもの」ができればとアピタ富山東店様のご理解をいただき、献血アクティビティーと併せて献眼登録啓蒙活動をさせていただくようになりました。

当クラブでの献眼登録者啓蒙活動は日が浅いですが、奇しくも奇跡の人『ヘレン・ケラー』と私が同じ誕生日という事で、今後も献血アクティビティーと献眼登録啓蒙活動に積極的に参加し、多くの人へ「愛の光の贈りもの」を届けられるよう活動していきたいと思っています。

Lions Club Takaoka Kojo

献眼登録啓蒙活動



高岡古城
ライオンズクラブ

334-D地区2R1Z

会長 開発 準朗



富山県立高岡南高等学校の学園祭にて



今年度より334-D地区2R1Z高岡古城ライオンズクラブの会長を拝命いたしました。そのこともありまして、この度富山県アイバンクだよりの寄稿文のご依頼をいただきました。大変光栄ではございましたが、私自身ライオン歴は約10年、その間アイバンクの献眼活動にはほぼご協力をしていない実情がございます。我がクラブでは献血活動には積極的に啓蒙活動に励んでおりますが、献眼活動は入会当初の約7、8年前にはアイバンク様よりゲストスピーチとしてご説明いただいた記憶があるくらいでした。

この機会にアイバンクのことを調べるにあたり、わがクラブ輩出の元ガバナーであったL井村東司三が公益財団法人富山県アイバンクの理事長を務められ、この啓蒙活動に多大なるご尽力

をされたことがわかり、無知であった私が大変恥ずかしく、また、この活動の意義と尊さを切実に感じました。

そして献眼者遺族の手記、開眼者の手記などを拝読させていただき、感極まり心を打たれたしだいです。

今年の9月には、1Zの5LC合同で高岡南高校での献血、献眼活動を実施いたしました。一過性ではなく各クラブでも継続しての活動をしていただきたいと思います。

最後に、L井村東司三のお言葉を借りれば「献眼は人生最後の奉仕であり、最高のお布施である」を胸に献眼啓蒙の充実を図り、一人でも多くの角膜疾患で失明した方々にひかりを取り戻す活動をしていきたいと思っています。

三百字の遺言 献眼へのメッセージⅡ

最後にできること

匿名（魚津ライオンズクラブ）

毎日の生活の中で見えるということは当たり前のことであり、素晴らしいことです。ところが、世の中には目が不自由なために、モノの美しさや楽しさを味わうことができない、光さえ見えない人が沢山います。

角膜の移植手術によって、これらの人たちに喜びや希望を与えることができます。

お父さんが死んだ時、そんな困っている人たちに光をプレゼントしたいので、どうかそのプレゼントを君たちの手で届けにってください。

お父さんからの最後のお願いです。

1925年 ライオンズクラブ国際大会の ヘレンケラーのスピーチ（一部抜粋）

想像してみてください。

もし、今日突然、みなさんの眼が見えなくなったら、どのように感じるか。

思い浮かべてみてください。

昼間でも夜であるかのようにつまずき、手探りする自分の姿を。

仕事を失い、あなたの自立した生活も消えてしまうのです。

ライオンズのみなさん

見える目を持ち、聞こえる耳を持ち、力強く勇敢で親切な、
あなた方をお願いします。ぜひ、盲人のために

「暗闇と闘う騎士になっていただけませんか？」



●アイバンク特別会議開催：富山県ライオンズクラブ32クラブ出席

2024年11月29日(金) 於：ホテルグランテラス富山

目的：各クラブ献眼登録率の低下、献眼数の減少、啓発活動の取り組みについて



●富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式開催

2025年4月25日(金) 於：富山県民会館



●ライオンズクラブ第71回334-D地区年次大会開催

2025年4月26日(土) 於：富山県西部体育センター

～公益財団法人富山県アイバンクブースにおいて～



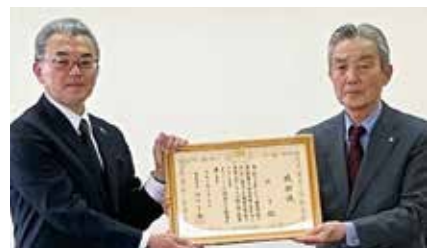
「角膜内皮測定」 三和メディカル株式会社



「眼の健康相談」
富山大学附属病院 眼科医 宮腰晃央先生

●第25回臓器移植推進国民大会

2024年10月20日(日)



臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状を翌年3月の理事会開催時に副理事長牧亨氏に贈呈されました。

●富山南ライオンズクラブ主催
イリュージョニストDAIKI
チャリティーマジックショー

2025年7月31日(木)

於：オーバード・ホール (大ホール)



●献眼者ご遺族に厚生労働省感謝状伝達式

2025年10月27日(月) 於：富山県庁特別室



募金箱設置とポスター掲示にご協力いただきました

2025年1月～2025年10月



メガネのハラダ 富山県全店舗



フェルヴェール 富山駅前店



メガネハウス 黒部店 メガネスーパー富山県全店舗



イタリアン・トマト CafeJr. ユウタウン総曲輪店



自家焙煎珈琲店 らんぶる



甘味処わかば 富山店



医療法人社団紫蘭会 光ヶ丘病院



赤い羽根募金より助成金の
内定をいただきました

ご芳志ありがとうございました

～令和6年4月1日から令和7年3月31日
までにご寄付いただいた方々です～
心から感謝と御礼申し上げます

寄付者 | ご芳名

一般		個人		敬称略 単位：円	
畠山 志郎	1,000,000	中山のぶ子	10,000	真田 律子	3,000
笠島 典子	500,000	松井久雄・優子	10,000	新村 弘之	3,000
木村 正明	200,000	元野 清春	10,000	正源 孝志	3,000
牧 亨	100,000	森 弘	10,000	高野久美子	3,000
屋根 愼二	60,000	牧野 武	7,000	中井 盛博	3,000
河島 早苗	30,000	石田 康次	6,000	中川吏永子	3,000
柴田 崇志	30,000	石垣 誓子	5,000	畑 孝子	3,000
豊田 耕一	30,000	志鷹 高子	5,000	水谷 克也	3,000
西田 勇	30,000	一刎 幸子	5,000	水谷 貴子	3,000
野村 謹吉	30,000	堀 壽夫	5,000	室山 若子	3,000
浅井 晴夫	20,000	溝口恵美子	5,000	矢木 義人	3,000
大坪 久子	20,000	山田 和枝	5,000	山田志津枝	3,000
愛場 京子	10,000	朝倉 一美	3,000	吉田 卓矢	3,000
愛場 正利	10,000	跡治 幸子	3,000	米澤 務	3,000
赤川詩津子	10,000	幾島かをる	3,000	武田 慎一	2,000
大浦 均	10,000	五百崎 平	3,000	東 英介	1,500
小寺 千春	10,000	今井 節子	3,000	山森 峰克	1,500
作村佐智子	10,000	上田 雄一	3,000	川村 豊子	1,000
武田 宏	10,000	木山 隆	3,000	匿名	1,000
竹部 俊恵	10,000	熊本 新一	3,000		
中尾 順一	10,000	小林 敦子	3,000		

一般		法人・団体			敬称略 単位：円
永森建設工業株式会社安全衛生協力会		100,000	株式会社石川組		10,000
防災電設株式会社		100,000	株式会社松田自動車		10,000

ライオンズクラブ関係				敬称略 単位：円
富山みなとライオンズクラブ	50,000	富山いきいきライオンズクラブ	50,000	
富山雷鳥ライオンズクラブ	50,000	入善ライオンズクラブ	100,000	
富山南ライオンズクラブ	100,000	高岡古城ライオンズクラブ	50,000	
富山東ライオンズクラブ	100,000	高岡フラワーライオンズクラブ	100,000	
富山高志ライオンズクラブ	10,000	新湊ライオンズクラブ	130,000	
富山神通ライオンズクラブ	50,000	小杉ライオンズクラブ	80,000	

賛助会員 | ご芳名

令和6年4月～令和7年3月

個人会員						敬称略
青木 英勝	片口 尚志	作村佐智子	戸澤 秀行	長谷川修博	毛利 良子	
石田ひとみ	片山 寿夫	笹島 康隆	豊田 葉子	林 篤志	森 弘	
伊藤 光雄	金井 澄子	篠田 和男	鳥崎 真人	廣瀬 利行	森田 嘉樹	
今井 幹雄	鎌谷 克彦	清水 英子	鳥山 博	藤塚由紀子	山尾 佳史	
今村 知代	上山 恵巳	杉本喜久子	中川 伸一	藤巻 篤子	山崎 和子	
植田 芳樹	狩野 俊哉	関師 真弓	中川 正人	堀 巖	山崎 泰邦	
上野 弘喜	河原 知昭	高柳 昇	長田 雅子	堀 津良志	山崎与四之	
梅田 清一	木村 正明	竹本 毅	中村 孝子	増井 修	山下 泉	
大浦 均	刑部 郁子	竹本 福志	中山 貴弘	松倉 正機	山下 陽子	
大田 妙子	串田 正二	館 奈保子	波岡 一子	水越 正之	若森 征雄	
大塚 光哉	黒崎 春久	田中 宣孝	新田 正昭	水野 敏博	渡邊 一三	
大庭 知子	駒見 博信	田中由美子	新田 康人	三原 美晴	匿名2名	
奥原喜代司	斉藤 周子	土田 豊	野尻津喜夫	宮腰 晃央		
小沢 正康	齊藤 譲一	寺井 仁	野村 賢政	宮島 清		

株式会社岩黒製作所
 株式会社押田建築設計事務所
 久保穀税理士事務所
 株式会社黒東アメニティ公社
 三進運送株式会社
 サンユウセキュリティ株式会社
 株式会社すがの印刷
 株式会社セイアグリーシステム
 高瀬公認会計士事務所
 東光運輸株式会社
 株式会社富山県義肢製作所
 富山スガキ株式会社

医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院
 平田眼科医院
 株式会社広野
 富源商事株式会社
 伏木海陸運送株式会社
 株式会社藤井産業
 防災電設株式会社
 北陸バンドー株式会社
 有限会社舩谷解体工業
 丸進商事株式会社
 株式会社丸八
 ミユキ化成株式会社

富山セントラルライオンズクラブ
 滑川ライオンズクラブ

高岡フラワーライオンズクラブ
 となみセントラルライオンズクラブ

募金ありがとうございました

募金者 | ご芳名

令和6年4月～令和7年3月



一般

敬称略 単位：円

立浪眼科医院	24,725	高岡市民病院 売店	8,140
片口眼科クリニック	21,219	株式会社すがの印刷	6,419
こしぶ眼科クリニック	17,226	フェルヴェール	2,612
富山赤十字病院 眼科	13,396	ながた裕子眼科	1,852
厚生連高岡病院 売店	11,970	富山南商工会大山支部センター	1,710
カレーハウスコロンブス	8,395	高岡市民病院 売店	664

ライオンズクラブ関係

敬称略 単位：円

富山みなとライオンズクラブ	12,000	高岡アラートライオンズクラブ	16,399
富山334-D地区1R2Z	101,000	氷見ライオンズクラブ	20,800

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方 個人所得税・個人住民税
- 個人で富山県外に在住の方 個人所得税
- 法人の方 法人所得税

詳しくは
アイバンクへ
お問い合わせ
下さい

公益財団法人富山県アイバンク 令和6年度事業報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

公益事業1 眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。本年度の新規献眼登録者数は、57名となりました。

(2) 眼球あっせん事業

①眼球のあっせん 19名の方から提供をいただきました。

- 提供者ご遺族へお悔み電報を送り、ご葬儀に参列し弔辞奉読および感謝状の伝達を行いました。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。

献眼月	年齢	性別	在住地
R6 5月	70歳代	男性	富山市
7月	80歳代	女性	高岡市
8月	90歳代	女性	朝日町
9月	80歳代	男性	入善町
10月	80歳代	男性	高岡市
11月	90歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	上市町
12月	90歳代	女性	砺波市
	90歳代	女性	入善町
	90歳代	男性	魚津市

献眼月	年齢	性別	在住地
R7 1月	70歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	高岡市
	70歳代	男性	富山市
2月	60歳代	女性	射水市
3月	50歳代	男性	射水市
	10歳代	男性	黒部市
	80歳代	女性	高岡市
	50歳代	男性	富山市

- 提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜・強膜のあっせんを行い31名の方に角膜移植を、37名の方に強膜移植が行われました。

②移植希望者の募集および登録

- 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

(3) 普及啓発事業

①医療従事者への啓発活動（令和6年4月1日～令和7年3月まで）

- 病院症例検討会を行いました。

富山県立中央病院
富山市民病院
厚生連高岡病院
高岡市民病院

②医療従事者へのミニレクチャーを行いました。

- 4月24日 第1回院内移植コーディネーター連絡会「献眼について」と題し発表を行いました。
- 7月1日 市立砺波総合病院にて「14歳の挑戦」にアイバンクのスライド提供。
- 8月23日 富山県立中央病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 10月3日 済生会高岡病院にて「14歳の挑戦」にアイバンクのスライド提供。
- 1月28日 富山大学附属病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 2月13日 高岡市民病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 3月14日 富山県立中央病院ECUにて「献眼について」と題し発表を行いました。

③院内移植委員会等に参加しました。

- 市立砺波総合病院にて臓器・組織の移植に関する委員会に参加しました。
- 厚生連高岡病院にて臓器提供委員会に参加しました。
- 富山県立中央病院にて臓器提供委員会に参加しました。
- 院内コーディネーター連絡会に参加しました。（R6／4月、7月、10月、R7／2月）
- 7月2日 富山市民病院にて臓器組織提供委員会（脳死判定委員会）に参加しました。
- 7月9日 高岡市民病院にて臓器組織・移植委員会に参加しました。
- 3月18日 富山大学附属病院にて臓器組織提供委員会参加しました。

④啓発活動の一環として講演を行いました。

- 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
小杉ライオンズクラブ・となみセントラルライオンズクラブ・富山いきいきライオンズクラブ
富山平成ライオンズクラブ・富山ライオンズクラブ・富山みなとライオンズクラブ
新湊ライオンズクラブ・魚津ライオンズクラブ・氷見ライオンズクラブ

⑤一般県民への啓発活動

街頭での啓発活動

- 6月10日 公益社団法人富山県善意銀行の総会にて、参加者に献眼登録申込書・献眼・啓発パンフレット配布
- 7月7日 富山みなとライオンズクラブ：フューチャーシティ・ファボーレにて献眼・啓発パンフレット配布
- 7月28日 公益財団法人日本眼科医会富山県眼科医会主催の「目の健康講座」にて献眼・啓発パンフレット・啓発キャンディー配布

- 7月31日 氷見ライオンズクラブ：献血運動時に献眼ポスター多数掲示し啓発
- 9月1日 富山雷鳥ライオンズクラブ：フューチャーシティ・ファボーレにて献眼・啓発パンフレット配布
- 9月14日 高岡ライオンズクラブ：イオンモール高岡にて献眼・啓発パンフレット配布
- 10月8日 となみセントラルライオンズクラブ：イオンモールとなみにて献眼・啓発パンフレット・クラブオリジナルポケットティッシュ配布
- 10月14日 黒部ライオンズクラブ：PLANT黒部店及び黒部市総合体育センターにて献眼・啓発パンフレット配布
- 10月14日 富山東ライオンズクラブ：クラブ主催の子どものためのフェスティバルにて献眼・啓発パンフレット配布
- 10月16日 富山県移植推進財団主催の「グリーンリボンキャンペーン」にて献眼・啓発パンフレット・紙風船・ポケットティッシュ配布
- 10月20日 上市ライオンズクラブ：第25回大岩茗荷谷山探勝ウォークの会にて献眼・啓発パンフレット配布
- 10月20日 入善ライオンズクラブ：クラブ共催の入善まつりらびっく2024にて献眼・啓発パンフレット・風船・紙風船配布
- 10月期間中のグリーンリボンキャンペーンにて、院内に掲示、献眼・啓発パンフレット・紙風船・ポケットティッシュ配布
掲施設：富山県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、富山大学附属病院
厚生連高岡病院、高岡市民病院、済生会高岡病院
- 11月10日 上市ライオンズクラブ：つるぎフェスティバルinかみいち2024にて献眼・啓発パンフレット配布
- 11月13日 社会福祉法人富山県社会福祉協議会いきいき長寿センター主催「令和6年度富山県いきいき長寿大学すこやか活動講座」にて献眼・啓発パンフレット配布
- 11月23日 氷見ライオンズクラブ：献血運動時に献眼ポスター多数掲示し啓発
- 12月10日 富山みなとライオンズクラブ：クラブ主催の学校法人神通学館高朋高等学校の献血運動にて献眼・啓発パンフレット配布
- 2月2日 小杉ライオンズクラブ：アル・プラザ小杉にて献血運動の際に風船・献眼・啓発パンフレット配布
- 2月9日 富山ライオンズクラブ：フューチャーシティ・ファボーレにて献血運動の際に献眼・啓発パンフレット配布
- 2月15日 公益社団法人富山県善意銀行主催の「第61回親切・善行感謝の集い」にて来場者・欠席者への献眼・啓発パンフレット配布
- 2月16日 富山雷鳥ライオンズクラブ：フューチャーシティ・ファボーレにて献血運動の際に献眼・啓発パンフレット配布
- 2月23日 入善ライオンズクラブ：クラブ共催の入善ラーメンまつりにて献眼・啓発パンフレット・風船を配布
- 3月6日 富山西ライオンズクラブ：大阪屋ショップ呉羽店にて献血活動と併せて献眼・啓発パンフレット配布
- 3月30日 氷見ライオンズクラブ：献血運動時に献眼ポスター多数掲示し啓発

公益事業2 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 情報紙「アイバンク情報・NEWS LETTER」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。
- (2) 富山県アイバンクポスターを発刊（1,500部）、富山県内ライオンズクラブ、県内関係者へ配布しました。
- (3) 広報誌「富山県アイバンクだより30号」を発刊（2,000部）、登録者及び県内関係機関に配布しました。
- (4) 10月10日の眼の愛護デーに北日本新聞・富山新聞に新聞広告を掲載しました。（掲載日：10/10）
- (5) ライオンズクラブ事務局の未使用募金箱を回収し、県内各所に設置しました。

その他

- 4月11日 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行・緊急常任委員会が開催され、森常務理事が出席し予算増額をお願いしました。
- 5月30日 石村、三井両監事に「令和5年度事業報告及び決算報告」の監査を受けました。
- 6月4日 令和6年度第1回理事会を開催し、第1号議案「令和5年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「富山県アイバンク組織（案）」について、第3号議案「定時評議員及び評議員選定委員の招集の件」について承認されました。
- 6月11日 自由民主党富山県政務調査会に木村理事長が出席し今年度の予算に対する回答がなされました。
- 6月19日 評議員選定委員会を開催し、「評議員辞任に伴う後任者選任の件」について承認されました。定時評議員会を開催し、第1号議案「令和5年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「富山県アイバンク組織（案）」について、第3号議案「理事辞任に伴う後任者選任の件」について承認されました。
- 8月30日 スタッフ委員会・広報委員会（PR部）委員会を開催し、第1号議案「令和6年度啓発用ポスターの件」について、第2号議案「アイバンクだより30号発行の件」について承認されました。
- 9月30日 自由民主党富山県政務調査会に木村理事長が出席し、来年度の予算に対する要算を提出しました。
- 10月18日 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行常任委員会及び評議員会に森常務理事が出席されました。
- 10月20日 臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状が牧副理事長に贈呈されました。
- 11月19日 ご遺族不参加のため厚生労働大臣感謝状伝達式が未開催となりました。令和5年9月から令和6年3月までに献眼されました9名のご遺族に対して「厚生労働大臣感謝状」を送らせていただきました。
- 1月24日 第47回全国アイバンク連絡協議会が東京で開催され、木村理事長、森常務理事、燕昇司常務理事、事務局員林、岡田が出席しました。
- 3月7日 令和6年度第2回理事会を開催し、第1号議案「令和6年度事業報告及び修正予算（案）承認の件」、第2号議案「令和7年度事業計画（案）及び予算（案）承認の件」について、第3号議案「定時評議員の招集の件」について承認されました。
- 3月24日 定時評議員会を開催し、第1号議案「令和6年度事業報告及び修正予算（案）承認の件」、第2号議案「令和7年度事業計画（案）及び予算（案）承認の件」について承認されました。

貸借対照表

令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,191,756	2,948,599	3,243,157
未収金	1,120,000	640,000	480,000
流動資産合計	7,311,756	3,588,599	3,723,157
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	65,000,000	65,000,000	0
基本財産合計(1)	65,000,000	65,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	4,906,768	4,906,768	0
減価償却引当資産	2,600,000	2,600,000	0
公益1事業に使用する機器整備資産取得資金	5,500,000	10,500,000	△ 5,000,000
マニュアル印刷事業引当資産	250,000	250,000	0
記念事業引当資産	1,200,000	600,000	600,000
あっせん事業引当資産	500,000	500,000	0
特定資産合計(2)	14,956,768	19,356,768	△ 4,400,000
(3)その他固定資産			
什器備品	2,296,267	2,661,867	△ 365,600
電話加入権	169,538	169,538	0
その他固定資産合計(3)	2,465,805	2,831,405	△ 365,600
固定資産合計(1)(2)(3)	82,422,573	87,188,173	△ 4,765,600
資産合計	89,734,329	90,776,772	△ 1,042,443
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	194,147	195,323	△ 1,176
未払金	1,455,528	1,698,371	△ 242,843
流動負債合計	1,649,675	1,893,694	△ 244,019
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,079,661	4,079,661	0
固定負債合計	4,079,661	4,079,661	0
負債合計	5,729,336	5,973,355	△ 244,019
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	65,000,000	65,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	10,050,000	14,450,000	△ 4,400,000
正味財産合計	84,004,993	84,803,417	△ 798,424
負債及び正味財産合計	89,734,329	90,776,772	△ 1,042,443

公益財団法人富山県アイバンク 名誉顧問・相談役・理事・監事名簿

令和7年11月1日現在 名誉顧問2名・相談役2名・理事34名・監事2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長
名誉顧問	大黒 幸雄	
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	永森 直人	富山県議会議員

役職	氏名	勤務先
理事長	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役会長
副理事長	松田 憲昌	株式会社昌栄堂 代表取締役会長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	燕昇司信夫	
理事	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士 磯野敏雄事務所 所長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	眼科医
理事	林 篤志	富山大学 副学長 富山大学眼科学 教授
理事	有賀 玲子	富山県 厚生部長
理事	高畑 淳一	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事・事務局長
理事	新田 正昭	新田眼科医院 院長
理事	尾畑 納子	富山県消費者協会 顧問
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	齋藤 博	萩浦工業株式会社 代表取締役会長
理事	村上 浩司	北陸電気システム株式会社 代表取締役
理事	大井 陽司	富山県議会議員
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理事	柏谷 公敏	サンユウセキュリティ株式会社 代表取締役
理事	岡畑 清二	応宰工業株式会社 代表取締役
理事	亀田総吉郎	株式会社建築設計室21 代表取締役
理事	濱野 正治	株式会社ホンダカーズ高岡 代表取締役
理事	松坂 稔	松坂商店 代表
理事	才川 昌一	南砺市議会議員
理事	上野 基巳	株式会社イリス 代表取締役会長
理事	川原 基宏	北陽商事株式会社・株式会社北陸燃料 代表取締役
理事	佐々井 忍	共和クレーン有限会社 代表取締役
理事	諏訪 淳	株式会社三四五建築研究所
理事	吉崎 剛	吉崎電設株式会社 代表取締役
理事	日野 康志	高岡矢崎サービス株式会社 代表取締役
理事	酒井 克之	株式会社ライエンス 代表取締役社長
理事	根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
理事	道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長
理事	竹本 毅	株式会社システック 代表取締役社長
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役
監事	三井 隆夫	中央薬品株式会社 取締役常務執行役員

公益財団法人富山県アイバンク 評議員名簿

令和7年11月1日現在 評議員33名



編集後記

『『光』の贈りもの』富山県アイバンクの冊子を知って貰う、読んで貰うことが広報活動の目的である。アイバンクの情報を知って貰うために冊子等を通して広報活動をおこなってきた。しかし最近、情報の多くの分野でスマートフォンやパソコンをツールとしてSNS等が利用されている。

学校の授業でもタブレットと従来の本で勉強をしている時代を考えると、ポスターや会報誌だけでは情報の伝達方法は現代の化石なのかもしれない。

『『光』の贈りもの』を手にとって献眼・アイバンクを知って貰うことが重要である。

献眼・アイバンク・献眼登録という言葉が人口に膾炙することである。広報活動そしてPR：Public Relationsは多くのライオンズクラブ会員のご協力が不可欠であると考えています。

「アイバンク」って何ですか？と、問われない社会が来ることを願っています。

広報委員長 燕昇司信夫

氏名	勤務先
河上 真弥	河上金物株式会社 専務取締役
村橋 賢亮	フジコン株式会社 代表取締役
布村 芳嗣	株式会社エフテック 特別顧問
木村 貴之	株式会社エイキ 代表取締役社長
大山 正人	株式会社ステージプラン 代表取締役
石橋 忠之	ローザ大成堂 代表取締役
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役
湊 恒成	富山中央社会保険労務士法人 代表社員
若松 茂夫	株式会社エイワ保険センター 代表
坂井 博文	光陽トーヨー住器株式会社 代表取締役
小林 大助	ハイテック株式会社 代表取締役
辻井 益雄	株式会社富花 会長
堀川 秀樹	あおばエステート株式会社 代表取締役会長
筑畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役
本田 繁	株式会社本田工務店 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役会長
中田 眞法	大岩山日石寺
横山 憲一	株式会社成憲 代表取締役
柏原 京子	かしはら館 女将
稗苗 清吉	稗苗清吉事務所 代表
加藤 好進	朝日町議会議員
藤川 聡	高志ハイアンビション株式会社 代表
若森 征雄	若森商店 代表
北林 和正	社会福祉法人Q・O・L福祉会 理事長
石橋 弘行	株式会社弁慶 代表取締役
波岡 章	有限会社さくら総合保険サービス 取締役会長
尾畑 昭雄	森山電機株式会社 代表取締役
中山 貴弘	株式会社フシキ住設 代表取締役
石灰 功一	株式会社石甚 代表取締役社長
谷道 正之	株式会社ライフプラザパートナーズ ファイナンシャルアドバイザー
新井 外弘	有限会社新井瓦店 代表
小西 昭夫	有限会社小西自動車工業 代表取締役
長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長

第 31 号



富山県アイバンクだより

第31号／令和7年12月1日

発行 公益財団法人 富山県アイバンク
富山市杉谷2630 TEL 076-434-5710
発行人 木村 正明

献眼は 登録していなくても できます

ご本人が拒否の意思を
示していない限り、
家族の同意で献眼できます
年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは

公益財団法人 富山県アイバンク

TEL 076-434-5710
(平日9時～17時)

FAX 076-436-0146

E-mail info@toyama-eyebank.com

ホームページ▶

